

TOWN TOPICS

3.25(日)～4.2(月) サッカーで世界へ挑戦!

アメリカのテキサス州で開催された「2018ダラスカップ」に、日本から唯一、東福岡高等学校が19歳以下の部「Gordon Jago Super Group」に参加し、須恵アザレアFC卒部生の森康生さん(乙植木区)が選手として出場しました。

この大会は、1980年に創設されたアメリカで最も長い歴史を誇る国際ユース大会で、約10万人以上の観客を集める大きなイベントとなっています。

森さんは「素晴らしい環境でビッグクラブとも試合ができてサッカーがさらに好きになり、普段の生活においても良い刺激をたくさん受けました。苦楽は生涯の道づれとも言えますし、これから先いろいろあるとは思いますが、今回経験できた事をしっかりと活かし文武両道できるよう頑張っていきたいと思います。」と話されていました。



ダラスカップ開会式の様子
2段目左が森さん



TOWN TOPICS

4.29(日) 須恵剣友会の小学生14連覇達成

第40回記念ライオンズ旗争奪少年剣道大会(花鶴福岡ライオンズクラブ主催)がクロスバルこが(古賀市)で行われ、糟屋・宗像地区の小中学生87チーム、522人が参加しました。

須恵剣友会は小学生団体戦において見事優勝を収め、平成17年の第27回大会から連続して14回目の優勝を果たしました。

個人戦は小学生の部で関慶太郎くん(須恵第二小学校6年)が優勝。中学生の団体戦でも須恵剣友会が5年ぶり7回目の優勝となりました。

小学生チームの大將を務めた関慶太郎くんは「先輩たちが今まで勝ち続けていると思うと絶対に負けられないと思ってとても緊張しましたが、チームのみんなと力を合わせて優勝することができてよかったです。夏の全国大会で優勝できるようにもつと稽古を頑張ります。」と決意を新たにしていました。



勝利を収め、喜ぶ剣士たち

TOWN TOPICS

5.7(月) 森勝己さん 旭日双光章を受章

旭日双光章とは、長年にわたって地方自治や社会福祉などで活躍し、その功績を認められた人に贈られる叙勲です。この旭日双光章を森勝己さん(恵西区)が受章されました。

森勝己さんは、昭和62年から平成23年までの24年間、須恵町議会議員として住民の福祉と町政の発展に尽力されました。この間、環境福祉委員会委員長として住民の健康づくりと福祉サービスの向上にも尽力されました。また、町議会副議長として、地方行政における問題に積極的に取り組み、議会活動を通じて、地方自治の発展などに大きく貢献されました。

森勝己さんは、「今後も須恵町に貢献できるよう尽力して参ります。」と話されていました。



小川県知事(左)と握手を交わす森さん(右)

CONTENTS SUE Vol.611

広報すえ 2018年6月号 目次

- 2 …… 久我記念館
- 3 …… まちの話題
- 4 …… 新旧町長あいさつ
- 6 …… 災害に備えて
- 8 …… 消費生活110番
- 9 …… 地域づくりを支える町内会
- 10 …… 新しい健康づくり事業をはじめます、統計調査登録調査員募集
- 11 …… KASUYAデンタルフェア、7月はオアシス運動強調月間です
- 12 …… 児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当
- 13 …… 役場からのインフォメーション
- 15 …… 若杉クラブだより、俳句・川柳
- 16 …… わくわくデイサロン、健康コラムニスト すえ子の部屋
- 17 …… 警察署だより、みんなを守る119、商工会だより
- 18 …… 情報いろいろ
- 20 …… 図書館だより
- 21 …… ハッピーバースデー、乳幼児健診・妊婦教室カレンダー
- 22 …… まちの情報カレンダー 休日当番医、水道指定当番 他
- 24 …… アザレアロードショー、町民卓球大会開催、平成30年度前期芸文祭 他

COVER

商工つつじまつりin須恵



4月29日(日)、健康広場および隣接駐車場で開催された商工つつじまつりin須恵(須恵町商工会主催)が盛大に行われました。

当日は、ステージ上でフォトコンテストの大賞作品が発表され、長澤麻美さん(大島原区)が見事受賞されました。作品は、岳城山展望台から町内を眺めるお子さんを捉えたものです。

他にも、ステージ上で突然のプロポーズが行われ、たくさんの観客が見守る中、幸せな夫婦が誕生しました。

美術センター
久我記念館

☎ 932-4987

企画展のご案内

月曜休館 祝日の場合は翌日休館

開館時間：10時～17時
(最終入館は16時30分まで)

入館無料

「女性の装いくし・かんざし・こうがい～東出芳枝 コレクション展～」

6月30日(土)～7月15日(日)

くし かんざし こうがい
「櫛」「簪」「笄」は、日本髪に欠かせないアクセサリです。太宰府の故 東出芳枝さんが収集した櫛・簪類のコレクションを須恵町立歴史民俗資料館が所蔵しています。コレクションは、約700点。江戸時代の末から昭和の初期までの製品です。時絵や螺鈿などの細かい漆細工、べっ甲や象牙などの貴重な素材を用いたもの、セルロイドやプラスチックなど当時の新素材を用いたものなど、工芸品としても素晴らしいものです。

現在、日本髪を結うことや着物を着る機会は少なくなりましたが、かつて女性をより美しく演出し、現在でもその輝きを失わないアクセサリをご覧ください。

かんざし
簪…簪は、髪飾りです。特に江戸時代後期には、さまざまな種類の簪が作られました。

こうがい
笄…笄は、髷の根を固定するための道具でした。江戸時代後期の複雑な結髪になると、装飾品として使用されました。